

2020年7月13日

## 2020年6月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

### <印刷用紙 A>

平判は塾テキスト関連、封筒関連、金融関連の仕事は堅調に推移したが、その他物件についてはコロナからの回復基調が見られず前年を下回った。

巻取は株主総会関連、生損保関連の仕事も一段落し、チラシ、冊子関連を中心に大口の物件も少なく平判以上に仕事の回復が見られない状況であり前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 81.5% 巻取 65.9%）

再生紙平判は大口定期物件以外の案件は、小ロットの仕事が中心であり前年を下回った。巻取は役所関連の大口の入札物件がほとんど見られず前年を大幅に下回った。

（前年比 再生上質平判 92.4% 再生上質巻取 61.3% 再生上質計 79.2%）

（前年比 印刷用紙 A78.0%）

### <A2 コート>

緊急事態宣言解除後、保留となっていたカタログ等の一部案件で動きがあった。しかし、全業界においてコロナ禍での自粛が継続されており、各種イベントの延期、中止等で印刷物全般の需要が大きく減少し、平判、巻取とも前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 76.1% 巻取 78.7% 全体 76.7%）

### <A3 コート>

株主総会、健康食品関連等で動きがあり、スーパー等小売店、量販店、学習塾、定期案件のチラシ等で一部回復の兆しが見られた。しかし、教習所の募集中止等、新型コロナウイルスの影響（対策含む）が大きく、前年を下回った。

（前年比 平判 80.1% 巻取 90.3% 全体 86.6%）

### <ノーカーボン紙>

緊急事態宣言解除の影響もあり、生損保、金融関連の平判の動きは若干回復の傾向にあったが、巻取については一般その他の帳票の動きも弱く、平判、巻取共に前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 86.6% 巻取 81.1%）

### <上質フォーム>

新型コロナウイルスによる自粛解除後の回復が期待されたが、金融、官庁関連の納付書はじめ、一般の動きも非常に弱く、給付金関連も落ち着き前年を大幅に下回った。

（前年比 79.6%）

<包装用紙>

特殊両更は特別給付金、保険関係の封筒用途の動きがあり前年を上回った。

(前年比 111.5%)

軽包装は製本会社向け雑包装用途の減少、量販店向けの角底袋用途の需要がなく前年を下回った。

(前年比 74.4%)

片艶晒はインバウンド需要がなく、百貨店向け手提袋の動きが低調で前年を下回った。

(前年比 94.5%)

両更晒はインバウンド需要の減少により手提袋の需要が無く、封筒用途での動きも低調で前年を下回った。

(前年比 85.2%)

純白ロールは生花店向け包装用途の動きが低調で前年を下回った。

(84.9%)

包装紙合計で 80.9%と前年を下回った。

<板紙>

新型コロナウイルスによる影響は依然あるが、日用雑貨品、食品関係は比較的堅調であった。緊急事態宣言解除後は一部で動きがあるものの土産物、POP、什器等は依然として動きが低調であり全体的にはやや下回った。

(前年比 99.2%)